



オガモイ通信

No. 17



小笠原村環境課 04998-2-2270

昆虫観察会

(2025年9月7日)

父島はグリーンアノール等の影響で虫はほとんど見られないんじゃないか…なんて思われていますが、実は意外にいるんです。そんな父島の虫事情を知ってもらうため、昆虫観察会を開催しました。今回は、野生研とおが高、そして講師の自然研とBOISSの皆さんと一緒に参加者・スタッフ計44名で行いました。



集合時間前にスタッフで役割分担と流れを確認



参加者がワラビ広場に続々集合



開会后、講師の自然研によるレクチャー



ヒメカタハウスで解説中

キラキラした緑色の飛べない虫のヒメカタゾウムシ類は、在来樹モクダチバナや外来樹キバンジロウの葉を食べます。ひょんなところが生息地になっていて、じつはオガモリにもいます。

BOISSでは、この虫をアノールの脅威から守るヒメカタハウスを仮設し、父島にどっこい生きている虫保全を行っています。



虫 LOVEな皆さん

6~8月なら → 見られるかも!



参加者が多かったので3班に分かれ、ヒメカタハウス30分と昆虫観察30分×2回と昆虫時間を満喫しました。

最後に生き物の生息環境をより良くするため、みんなで沢沿いのアカギの芽かきと実生引き抜きを行いました。



昆虫観察では土の中や沢の中を大捜索!



アカギ駆除も大人数でやればあっという間



色々な道具で探してきた虫を観察&解説中



東京農業大学ボランティア部による作業

(2025年9月9日)

たいよう畑(植栽地②)の柵沿いの倒れそうなアシカヤシを伐ってくれました。

ヤシは思った以上に高く重く、ヒヤッとする場面もありましたが、無事に作業を終え、おかげでスッキリしました。



倒れたら危なそう...



2025年度の秋～冬のオガもり



モクマオウの大木

父島の清瀬圃場にはオガグワ苗が70本ほどあります。この苗用の植栽地をつくるため、大きなモクマオウ・アカギを計4本伐採し、残置されていた木材を片付け、ヤギ侵入防止柵を拡張し、新たに出来た入り口までの歩道を整備しました。



この大木を伐採



材はロープと人力で運搬



集積した材をチップ化



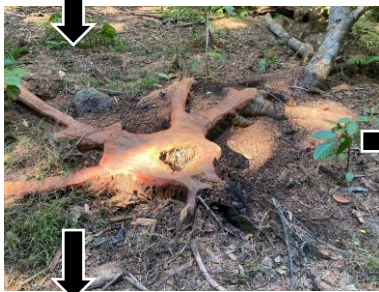
残置材の片付け



道路近くの平場に集積



チップは歩道などに敷きならす予定



伐採後、柵を拡張



歩道を整備

地ならし体験会 のたて (野点お茶会付き)

(2026年1月31日)



切り株から芽が出てくるのを抑えるために防草シートで覆う



久々の大人参加者のみで童心に還って？木竹を伐りまくり！



休憩時間は冬イベントの定番にしたい野点お茶会



植栽予定地がスッキリ♪



予定地のまわりすらスッキリ



多分いろいろスッキリした皆さん